

第4号様式（第5条関係）

平成31年1月23日

会津若松市長

申請者 会津若松市男女共同参画推進実行委員会

実行委員長 皆川 誠 治

連絡先 965-0861

会津若松市日新町8-7

（電話 29-7001）



男女共同参画社会づくり推進活動事業実績報告書

男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金交付要綱に基づく平成30年度補助金の交付申請を行った下記の事業について、事業が完了したので報告します。

記

- 1 事業名 「平成30年度 男女共同参画都市宣言のつどい」の開催
- 2 男女共同参画社会づくり推進活動事業成果報告書（別紙）
- 3 収支決算書（別紙）

- （注）1 「申請者」は、団体にあつては団体名及び代表者名、個人にあつては氏名となります。
- 2 「連絡先」は、団体にあつては通常連絡を受けることのできる場所（事務所、個人宅を問わない）の所在、個人にあつては住所となります。
- 3 適宜挙証資料を添付してください。

平成31年1月23日

会津若松市長様

報告者 会津若松市男女共同参画推進実行委員会

実行委員長 皆川 誠治



男女共同参画社会づくり推進活動にかかる成果報告書

男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金により実施いたしました「平成30年度男女共同参画都市宣言のつどい」の成果について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 事業名 「平成30年度 男女共同参画都市宣言のつどい」の開催
- 2 事業の目的 2020年2月に、「会津若松市男女共同参画都市宣言」20周年を迎えるにあたり、その前年に「男女共同参画都市宣言のつどい」を開催し、男女共同参画への理解を深め、男女共同参画社会づくりの推進活動および啓発活動の一助とする。
- 3 主催 会津若松市男女共同参画推進実行委員会
- 4 開催日時 平成31年1月14日（月・祝）14：30～16：30
- 5 会場 會津稽古堂 多目的ホール
- 6 参加者 133名（うち主催者側 20名）
- 7 成果と課題

我が国では、平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震を踏まえ、平成17年、「防災基本計画」に男女共同参画の視点が初めて盛り込まれた。また、「男女共同参画基本計画（第2次）」には、新たな取り組みをする分野として「防災（災害復興を含む）」が位置づけられた。

平成23年の東日本大震災に続き、平成30年には西日本豪雨や北海道胆振東部地震などの自然災害が多発しており、平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤になることが強く叫ばれている。会津若松市においても、自主防災組織が町内会に作られ始めており市民の防災意識も高まってきた。

以上のような背景を受け、今回の「平成30年度 男女共同参画都市宣言のつどい」は『防災と男女共同参画』をテーマとした。

講師として、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授の天野和彦さんをお招きし、「いのちを守る視点 ～これまでの災害から考える、地域、自治、男女共同参画～」というテーマで講演いただいた。天野先生は、2011年3月11日の東日本大震災において、約25000人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わられた方で、現在も被災者の生活再建、コミュニティ形成のための支援活動を行なっておられる。

講演の前に、これまでに起きた「全国各地の災害」の映像や会津若松市慶山地区自主防災組織の取り組みなどをまとめ、プレゼンし講演につなげた。

「人を救うのは人間しかいない」「避難所は人権のかたまり」という言葉が印象に残った。混沌としていて寝てばかりの生活だった避難所が徐々に変貌していき、自治が生まれ、笑顔を取り戻し、絆や男女共同参画が芽生えてく過程を聴いて、人間の温かみや人間同士の繋がりの重要性を強く感じたパワー溢れる講演だった。

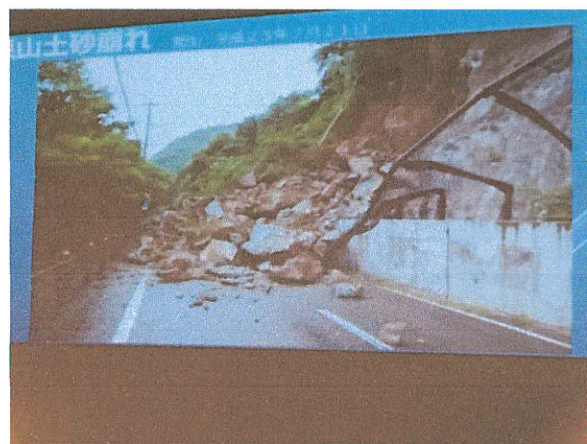
会津若松市にあっても、災害は、いつ起きるか分からないものになってきている。今回、市内自治会の方々の参加も多くあった。これからの社会づくりには、男女共同参画の視点が必要である。

男女平等意識は徐々に浸透し、男女共同参画社会への関心は高まってきているが、現実の社会や家庭生活においては、固定的な性別役割分業が依然として残っている。これからも、男女差別のない地域社会の実現をめざして活動し、男女共同参画への理解を深め、都市宣言の更なる普及と発展を図っていきたいと考える。

(別紙 配布資料等添付)



「男女共同参画都市宣言」の唱和



プレゼン「市内東山町内の土砂崩れ」

平成30年度 男女共同参画都市宣言のつどい 収支決算書

収入総額 48,191 円  
 支出総額 48,191 円  
 差引残額 0 円

収入の部

(単位 円)

項 目	本年度決算額	付 記
(会 費) 団体負担金	24,191	
補 助 金	24,000	会津若松市より
雑 収 入	0	
合 計	48,191	

支出の部

(単位 円)

項 目	本年度決算額	付 記
講 師 謝 礼	30,000	
手 話 通 訳 謝 礼	10,500	
ちらし・ポスター用紙代	3,477	
資料作成用紙代	4,214	
合 計	48,191	

上記のとおり報告いたします。

平成31年1月24日

会津若松市男女共同参画推進実行委員長

皆川 誠 治

